

今治市生活支援体制整備事業



ちょっとだけ、地域を支える私の手
～生きていく力とお互いさまの心を育む今治～

一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯、要支援・要介護認定者が増加している中、「住み慣れた地域で安心して暮らしていける地域づくり」が求められています。

このような現状を踏まえ、平成27年度の介護保険法の一部改正により生活支援体制整備事業（以下、整備事業）が始まりました。整備事業では高齢者の生活の困りごとを解決していくことや、より暮らしやすい高齢者を支える地域の支え合いの体制作りを推進しております。



生活の
困りごと



資源の開発



ネットワーク構築

ニーズと取り組みの
マッチング

～整備事業の役割～

- ♥ 一人ひとりの
関心や思いやり
- ♥ アイデア・工夫
- ♥ 地域性と地域情報
(人・モノ・場所)
- ♥ 参加・協力・理解

生活支援コーディネーター

整備事業は、「生活支援」「介護予防」を重要視し、地域の支え合いを充実する方向です。生活支援コーディネーターを第1層（市全体）と第2層（市内27地区）に配置し、主に下記の活動をしております。

高齢者の生活課題の把握



老人クラブやサロン等の集いの場への訪問やケアマネジャーや保健師等からの聞き取り、調査等から地域のニーズ（困りごと）を把握します。

社会資源の把握・充実・開発



地縁団体・組織等の社会資源の把握を行い、これらの社会資源が高齢者を支える地域づくりに繋がるよう、充実を図ったり、ニーズに即した社会資源の開発を行います。

生活支援の担い手の養成・発掘



すべての人が担い手となるように、学習・社会参加の機会をつくれます。既に地域で活躍されている方についても発展・充実の可能性を探ります。

ネットワークづくり



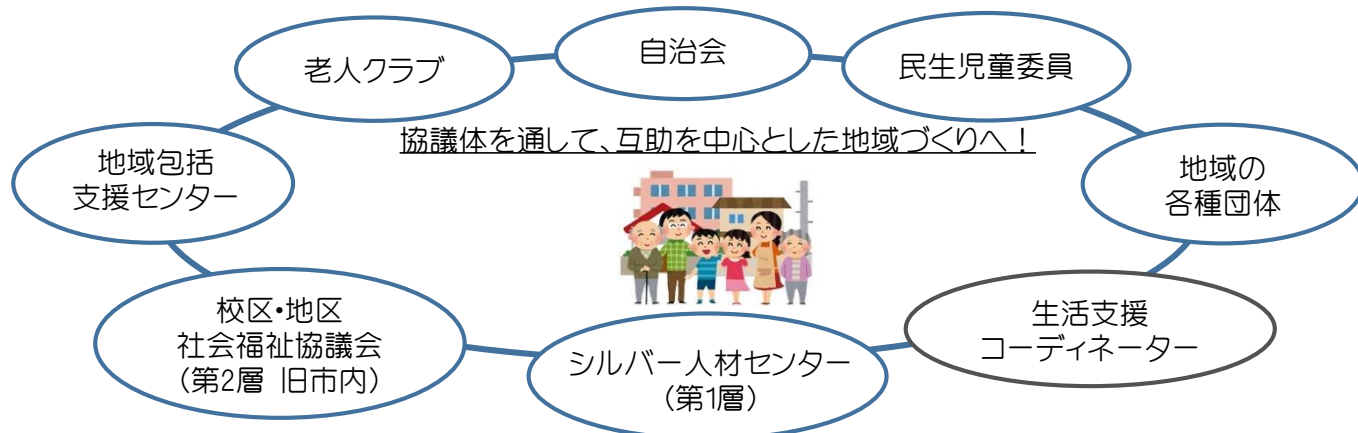
既存の社会資源の強みを活かしつつ、各地域の組織や団体、機関等による情報共有・連携の体制づくりをすすめます。

協議体

今治市では第1層（市全体）と第2層（市内27地区）で協議体を設置しています。協議体では互助を中心とした地域づくりを住民主体で進めるため、地域の実情に合わせて様々な方と、定期的な情報共有や連携の強化、課題解決のための取り組みについて話し合い、地域への働きかけを行っています。

図：協議体のイメージ

※協議体の参加者（構成員）は各地域によって異なる場合があります。



各地区の支え合い活動を紹介します

☆集いの場の充実

～浜の陽だまりサロン（城東地区）～

毎月第2木曜日に鳥生東集会所で地域住民が集まり、体操や茶話会を通して交流を深めています。気軽に集える居場所となるよう地域住民と話し合いながら立ち上げ、活動しています。



☆生活支援

～おた助さん（波方地区）～

なみっこ交流館を拠点に、おた助さんと呼ばれる住民ボランティアが困っている住民を手伝う、助け合い活動を行っています。活動内容は草刈りやゴミ出し、話し相手など様々です。生活支援コーディネーターは、定期的に活動状況を共有し、改善点等があれば話し合うなど生活支援ボランティアが活動しやすいように調整しています。



☆社会資源への働きかけ

～移動販売車（伯方地区）～

移動販売は高齢者の生活を支える社会資源のひとつです。金崎地区には週に1回移動販売車が来て、地区内の高齢者が買い物をしています。移動販売車が来る前は、往復約2時間かけて店に買い物に行く人もいました。住民の声と社会資源をつなげることも生活を支える取り組みのひとつです。



この事業に関するお問い合わせ

今治市社会福祉協議会 介護福祉課 生活支援コーディネーター
所在地：今治市南宝来町1丁目9-8（今治市総合福祉センター内）
電話番号：0898-22-6074 FAX：0898-22-6022

